

♪1 学期クラス別貸出冊数発表♪

1 学期クラス別貸出冊数（コミックを除く）

1A	105
1B	63
1C	59
1D	98
2A	4
2B	34
2C	2
2D	1
3A	41
3B	4
3C	59
3D	34
教職員	44

☞1年生が大健闘！4クラスが上位に入りました。毎日来室する人も多く、貸出冊数に表れていますね。2年生はさびしい結果でした。部活などで忙しいのかな？図書室が遠い！なんて言わないで気軽に寄って下さいね。

☞3年生は特に「社会研究」の発表のための利用が多いです。蔵書検索も簡単にできるので、ぜひ使ってみてください。

☞実はコミックの貸出冊数も多いです。コミック本を制覇するぞ！と頑張っている人もいます。新着コミックもあります。チェックしてみてください！

☞新着本も続々入っています。いろいろな本があるので、まずは手に取ってみましょう！

【一人あたりの貸出冊数】上位は

★★★★★1位…1A (2.39冊)

★★★★★2位…1D (2.23冊)

★★★★★3位…3C (1.48冊)

★★★★★4位…1B (1.43冊)

★★★★★5位…1C (1.34冊)

☆カウンターには蔵書検索用パソコンがあります。使い方がわからない時は声を掛けて下さい。

☆雑誌のバックナンバーは借りられます。

☆理工学部図書館の本も借りられます。利用方法については司書までお尋ね下さい。

☆図書委員からのオススメ☆

『レ・ミゼラブル』 ヴィクトル・ユゴー 著 角川文庫 ほか

「戦う者の声が聞こえるかい？」

時は18世紀後半。

パンをたった一つ盗んだ罪で十数年も囚われた主人公、ジャン・バルジャン。

物語はそんな彼が司祭によって更生する所から始まる。

彼が更生してから人生を過ごしていく中で様々な人に出会う。

自分の身を投げ出してまで娘のためにはたらく女、ファンテーヌ。

ジャン・バルジャンが囚われていた頃の警部、ジャベール。

他にも数え切れないほど重要な人物はいるが、

特にこのジャベールは物語のなかで一番重要な人物だと言っても過言ではない。

ジャベールはジャン・バルジャンとまるで光と陰のように対照的に描かれている。

そんな二人にもいくつか共通点があり…。

ちなみに題名の「レ・ミゼラブル」はフランス語で「悲惨な人々」という意味だ。

登場人物も圧倒的に貧困層の人々が多い。

時代背景からわかるように、貧困層の人々は毎日生きるのに精一杯だ。

そんな中でも、革命を起こしたりして日常を変えていこうとしていく…。

また、この作品はミュージカル化したので、「外国文学は難しくてちょっと…」

という人もミュージカルからでもいいので見てみてください。

1年 女子図書委員